

UPSMON

for Windows95/98, WindowsNT4.0, Windows2000&WindowsMe

ユーザズマニュアル



2001年1月第3版

はじめに

このたびは、『UPSMON』をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

本書は『UPSMON』を使用するのに必要な情報および操作方法について説明しています。

『UPSMON』（以下本ソフトと称す）は、停電が持続した時にデータを自動的にセーブし、Windowsの自動終了処理や、スケジュール機能によるパソコンの自動起動/自動停止などが可能なソフトウェアです。

- 1：アプリケーションソフトによってはデータをセーブできない場合があります。
- 2：MS-DOSモードご使用の際に、シャットダウンできない場合があります。
- 3：電池の劣化や度重なる停電等により、バックアップ時間が短くなっている場合や、本ソフトの設定条件によっては、自動終了処理が完了する前に、無停電電源装置が停止してしまう場合があります。

なお本書は、パソコンとWindowsの両方にある程度の知識と経験がある方を対象としています。本ソフトの使用にあたっては、パナソニック製無停電電源装置（以下UPSと称す）DE-U501ZPまたは相当品と専用ケーブルが必要です。（専用ケーブルも同梱しております。）

また、パソコンには、Windows95,Windows98,WindowsNT4.0,Windows2000,WindowsMeのいずれかがインストール済みであることも前提としています。尚、本ソフトはDOS/V機でのみ使用可能です。

：NEC製PC-98シリーズには使用できません。

本ソフトにつきましては、「使用許諾契約書」に同意していただけることが、ご使用の条件となっております。

：「使用許諾契約書」は本書に記載しています。

Windows, WindowsNTは米国マイクロソフト社の登録商標です。

本マニュアルの内容については、将来予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。また、一部画面が異なる場合があります。

目次

ご使用前の注意事項	4
使用許諾契約書	5
機能概要	7
包装内容の確認	10
本ソフトのインストールと起動	11
1. Windows95/98/Meの場合	11
(1) 本ソフトのセットアップと初期設定	11
(2) 動作確認	16
(3) ソフトの停止と削除	17
2. WindowsNT4.0/Windows2000の場合	18
(1) 本ソフトのセットアップと初期設定	18
(2) 動作確認	23
(3) ソフトの停止と削除	24
本ソフトの構成と設定	25
1. 本ソフトの構成	25
2. イベント発生時の動作設定	27
3. スケジュールの設定	31
付録 トラブルシューティング	35

ご使用前の注意事項

本ソフトに関する動作環境、および使用上のお願いを記載しています。

1．動作環境

- ・対応CPU : Pentiumと同等またはそれ以上
- ・対応パソコン機種 : IBM PC/AT互換機 (DOS/V機)
NEC PC-98 シリーズには使用できません。
- ・対応OS : Windows95 / Windows98 / WindowsMe
WindowsNT4.0 / Windows2000
- ・ハードディスクの必要容量 : 約20MB

2．使用上のお願い

- ・Windows95,98,Me をご使用の場合、パソコンのBIOS等の設定により、パワーセーブモード・省電力機能・スリープモードは使用しないように設定してください。
(Windows終了後「コンピュータの電源を切る準備ができました」のメッセージを表示するように設定してください。)
- ・『UPSMON』はパソコンのシリアルポート1個を占有します。同ポートにシリアルポートを使用する機器を接続しないでください。また、他機器のシリアルポートを使用するドライバソフトをインストールしないでください。『UPSMON』が正常に機能できません。

使用許諾契約書

第1条（使用許諾）

1. お客様は、この契約の内容に従うことを条件に、本プログラムおよび関連資料を、日本国内で使用することができます。
2. お客様は、本プログラムを1台のコンピュータにインストールして使用することができます。
本プログラムをネットワークその他の方法により複数のコンピュータで使用する場合には、必要本数をご購入いただかなければなりません。また、本プログラムを異なるコンピュータ間で共有したり同時に使用することはできません。
3. お客様は、バックアップの目的に限って、本プログラムのコピーを1部作成することができます。

第2条（使用の制限）

1. お客様は、前条に明記されている場合を除き、本プログラムおよび関連資料の複製、変更はできません。
また、有償、無償を問わず、本プログラムおよび関連資料を第三者に使用させ、もしくは譲渡することはできません。
2. お客様は、本プログラムの全部または一部について、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルすることはできません。

第3条（著作権）

1. 本プログラムおよび関連資料の著作権は、著作権法によって保護されています。お客様は、本製品の購入により本プログラムおよび関連資料の使用権を取得することができますが、その著作権までがお客様に移転するものではありません。

第4条（保証の範囲）

1. 本プログラムのCD-ROM、関連資料に物理的な欠陥がある場合、あるいは本プログラムが関連資料に記載された通りに動作しない場合、本製品の領収書または購入を証するもの（またはその写し）をご呈示いただければお買い上げ後1年間に限り、無償で修理、交換いたします。交換・修理後の保証期間は、元の保証期間の残存期間または30日間のどちらか長い方とします。
また、この欠陥が修理、交換により対応できない場合には本製品に対してお支払い済みの購入代金をお客様に返却いたします。
なお、風水害、地震、火災、その他の災害、第三者による行為、事故や誤使用など、その原因が弊社の責に帰さない理由に起因する場合には、当該保証の対象外とします。
2. お客様は、本プログラムの変更、改造を行わないでください。お客様の変更改造により何らかの欠陥が生じたとしても弊社では一切保証いたしません。また、お客様の変更、改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社が責任を負うものではありません。

3. 弊社は、お客様に対し、本条 1 項に記載された保証を除き本プログラムおよび関連資料の機能、性能、品質が、お客様の特定の用途、利用目的に適合していることを含むいかなる明示もしくは黙示の保証を行いません。
4. 弊社は、『ご愛用者登録カード』を返送されたお客様に対してのみ、修理・交換等のサービスを実施いたしますので、この契約の条件にご同意いただいたお客様は、本製品に付属しています『ご愛用者登録カード』に必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。

第 5 条（責任の制限）

1. 弊社は、本プログラムおよび関連資料の使用により、もしくは使用できなかったことにより生じる直接的、間接的、特別なあるいは結果的損害について一切責任を負わないものとします。
ここでいう損害とは、事業利益の損失、業務の中断、情報の損失、金銭的な損失、あるいは第三者からの損害賠償請求などを含みますがこれらに限定されません。
2. この契約に基づく弊社の責任は、本製品のご購入に際しお客様が実際に支払った金額を上限とします。

第 6 条（契約の終了）

1. お客様は、いかなる時でも本プログラムとそのすべての複製物および関連資料を、お客様の費用負担にて弊社に返却するか、または破棄することによって、この契約を終了させることができます。
2. お客様がこの契約の内容に違反した場合、弊社はこの契約を解除し本プログラムの使用を終了させることができます。
その場合、お客様は、本プログラムとそのすべての複製物および関連資料をお客様の費用負担にて弊社に返却するか、または破棄しなければなりません。

第 7 条（その他）

1. この契約書は、お客様が適法に、本プログラムおよび関連資料の使用権の許諾を受けたことの証明書となりますので大切に保管してください。

機能概要

UPSMONの機能

本ソフトは、現在お使いのUPSの機能を補足し、より使いやすいUPSにする為のソフトウェアです。本ソフトは、自動シャットダウンによるオペレーティングシステム（以下OSと称す）の保護機能や、自動セーブによるファイルの保護機能を持っています。また、スケジュール機能による自動停止/自動起動や、イベント情報の表示機能があります。

UPSは本来、停電によるパソコンのシステムへのダメージとデータの消失を防止するように設計されていますが、そのバックアップは短時間に限られています。

UPSのバッテリーがなくなる前にシステムを停止させないとシステムはクラッシュしてしまいます。これではUPSがないのと同じ結果を招いてしまいます。

オペレーティングシステムの保護機能

最近のOSはほとんどが、停止コマンドで動作を終了させてからパソコンの電源を切る必要があります。停止処理をしないで電源を切るとOSが損傷を受ける場合があります、最悪再起動不可能な状態になる可能性があります。そのため、本ソフトはバッテリーがなくなる前にユーザーに代わって停止処理を行い、OSを保護する機能を備えています。

ファイルをセーブする機能

本ソフトは、OSを停止する前に、動作中のアプリケーションにより、開かれている全てのファイルをセーブしてから閉じようとする機能を備えています。

アプリケーションによってはセーブできない場合もありますので、必要に応じて検証テストを行ってください。

スケジュール機能

本ソフトは、スケジュールを設定することによりパソコンを自動起動、自動停止させることができます。

パソコンによっては自動起動できない場合があります。

本ソフトの動作

本ソフトの動作を理解しておきますと、お客様の使用環境に合わせた使用計画をつくることができます。

安全機能について

UPSがパソコンをバックアップできるのは限られた時間だけです。この限られた時間内でパソコンのデータをセーブして停止させなくてはなりません。本ソフトはユーザーが操作しなくても自動的に上記の操作を行います。

停止動作

停電発生時の一般的な動作は以下の通りです。

1. UPSは停電を検出し、バッテリーによる給電に切り換えます。
2. UPSはシリアルケーブルを通じてパソコン（本ソフト）に停電が発生したことを知らせます。
3. 本ソフトはこの情報をイベントログに記録し、警告メッセージを画面に表示させ、カウントタイマーを起動しカウントダウンを開始します。
4. タイマーのカウントが『0』ゼロになりますと、本ソフトは次の停止処理を実行します。
 - a) 本ソフトは動作中の全てのアプリケーションに対して、データをセーブしてプログラムを閉じるように指示します。
 - b) 本ソフトはUPSに対して、一定時間（後述の『UPSが停止するまでの時間』にて設定）経過後UPSを停止させる命令を出し、OS終了処理を開始します。
5. OSが終了するとUPSは停止します。

『UPSが停止するまでの時間』時間が適切に設定されていなかったり（推奨：OS終了処理時間+1分）、電池容量が不十分な場合には、OSが終了する前にUPSが停止することがあります。

注意事項

UPSMONによるパソコンの自動起動について

(スケジュールによる起動および復電後の起動)

以下の項目を確認の上、ご使用ください。

- ・シャットダウン後、パソコンのスイッチをOFFにしないで、パソコンの電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグを投入した時、パソコンが起動してWindowsが起動する機種のみ自動起動可能なパソコンです。

Windowsをシャットダウンすると『自動的にパソコンの電源が切れる』機種をお使いの場合は、パソコンの自動起動できません。

『自動的にパソコンの電源が切れる』機能を無効にすることにより、パソコンの自動起動ができる場合もあります。設定を変更する場合は、「パソコン本体の取扱説明書」に従ってください。

UPSMON使用時の弊害について

- ・他のUPSコントロールソフトとの併用はできません。
- ・その他の電源管理機能は使用しないでください。

包装内容の確認

本ソフトのパッケージには次のものが入っています。

- ・ UPSMONインストール用CD-ROM
1枚
- ・ 9ピン専用シリアルケーブル
1本

本ソフトのインストールと起動

1 . Windows95/98/Meの場合

(1) 本ソフトのセットアップと初期設定

ここでは本ソフトをセットアップする方法と初期設定について説明します。

必要なハードウェアとソフトウェア

- ・ IBM PC / AT (DOS / V機) 互換機 (UPS 専用にシリアルポートが 1 つ使用可能なこと)
- ・ オペレーティングシステム : Windows95, Windows98, WindowsMe
- ・ Panasonic UPS 本体

UPS とパソコンとの接続

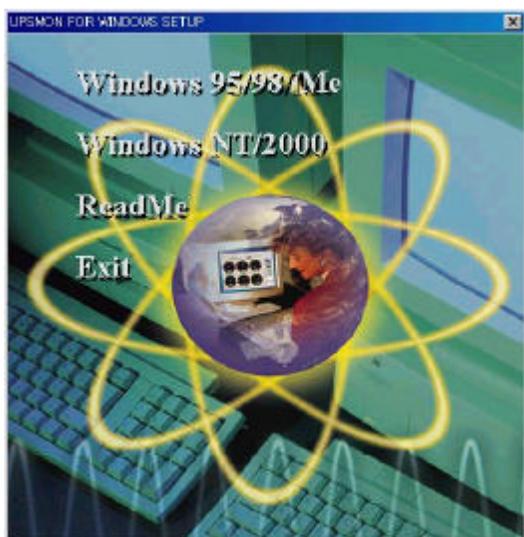
- 1 . UPS の取扱説明書に従い、パソコンとUPS を設置します。
- 2 . ケーブルでパソコンとUPS を接続します。
本ソフトに同梱の 9 ピン シリアルケーブルでUPS とパソコンのシリアルポートを接続してください。
9ピン シリアルケーブルはオス・メスを確認の上、接続願います。

注意事項

ソフトをインストールする前にケーブルを接続しUPS の電源をONにして下さい。
ケーブルが外れるとシステムが突然シャットダウンする等の不具合が発生します。
コネクタは必ずネジ止めしてください。

本ソフトをインストールする

- 1) 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブ（通常Dドライブ）に挿入します。
- 2) 画面に以下のような表示が出たら、『Windows 95/98/Me』を選んでクリックします。
（または、『エクスプローラ』より『デスクトップ』の『マイコンピュータ』 - 『UPSMON』
- 『Win9x』 - 『setup.exe』をダブルクリックします。）



- 3) セットアップ画面の指示に従い、『Next』で次へと進めます。（通常はデフォルトの状態を推奨します。）
- 4) 『UPSmon』というフォルダが表示されたら、画面を閉じ、セットアップ画面の『Finish』をクリックして終了させます。



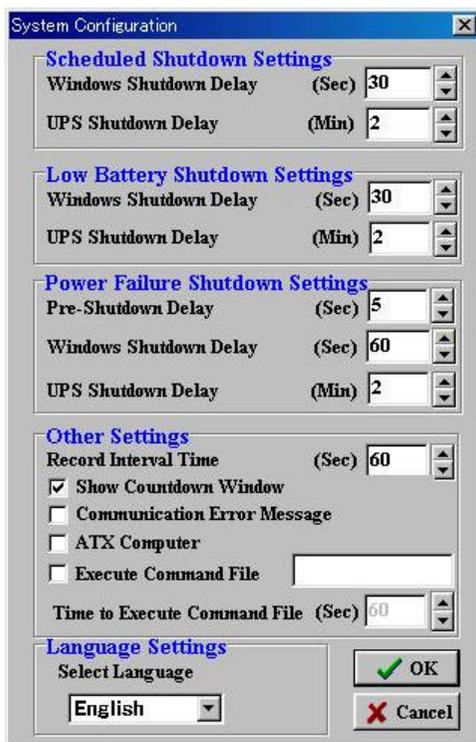
本ソフトの初期設定

- 1) 『スタート』の『プログラム』 - 『Upsmon』 - 『UPSMON』をクリックすると、画面右下のタスクトレイに『UPSMON』のアイコンが表示されます。

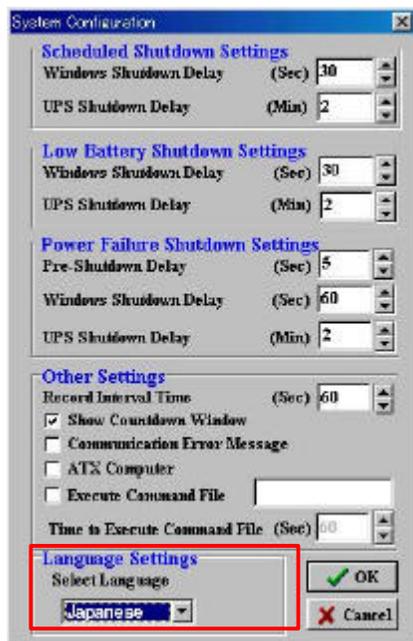
『UPSMON』アイコン



- 2) 次にそのアイコンを右クリックし、『Restore』をクリックします。(または、アイコンをダブルクリックします。)
- 3) 『Monitor』が表示されますので、『メニューバー』の『File』 - 『System Configuration』をクリックして以下の画面を表示させます。



- 4) 『Language Settings』の『English』を『Japanese』に変更し、『OK』をクリックします。



- 5) 『Monitor』等の全ての表示が、日本語表示に変わります。

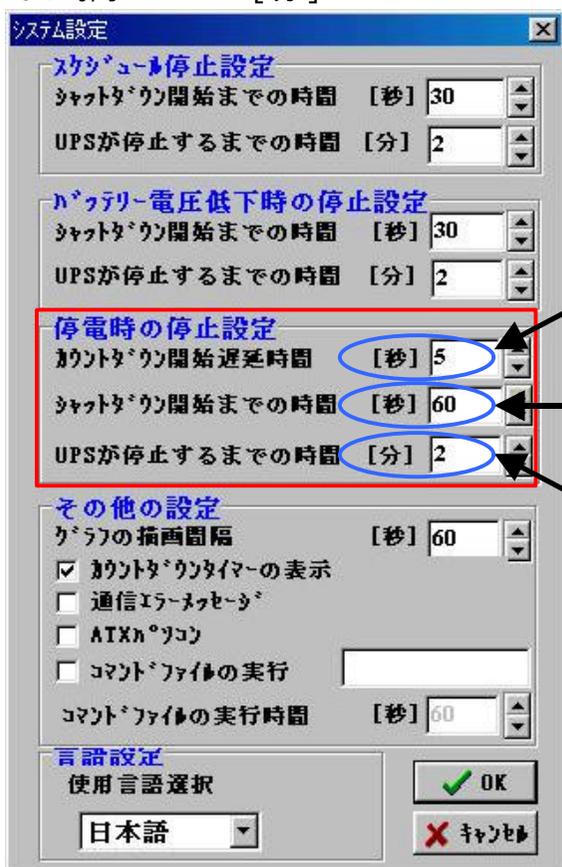


- 6)次に『メニューバー』の『セットアップ』 - 『COMポート』をクリックして以下の画面を表示させ、シリアルケーブルの接続されたポートの設定を行い、『OK』をクリックします。



- 7) 『メニューバー』の『ファイル』 - 『システム設定』をクリックして画面を表示させ、『停電時の停止設定』を以下の数値に設定し、『OK』をクリックします。

カウントダウン開始遅延時間 : 5 [秒]
シャットダウン開始までの時間 : 30 [秒]
UPSが停止するまでの時間 : 2 [分]



『UPSが停止するまでの時間』の設定は、十分余裕を持たせた値にする必要があります。設定方法の詳細は、27ページをご参照ください。

以上で本ソフトのインストールと基本設定が終了しました。

(2) 動作確認

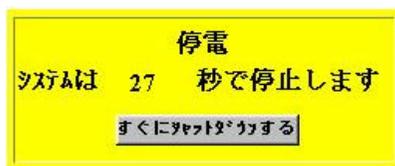
本ソフトはご使用のUPSでテストしてからシステムの保護に使用してください。
ここでは、そのためのテストの手順を説明します。

【テストの手順】

次の手順で本ソフトの動作テストを行います。

尚、この時点ではパソコン本体の電源ケーブルはUPSの出力コンセントではなく、通常のコンセントに接続しておくことをおすすめします。

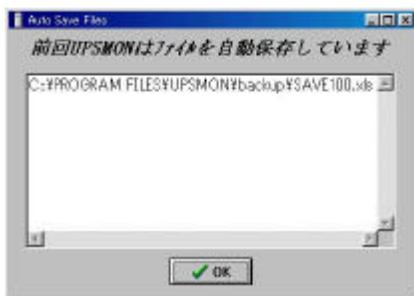
1. Windowsを起動させます。
2. 試しにWindows上のアプリケーションを何か起動し、データを入力してください。
3. UPSの電源プラグをコンセントから引き抜きます。画面に以下のようなカウントダウンのタイマーが表示されます。(タイマーが表示されるまで少し時間がかかります。)



カウントダウンタイマーが表示されない場合は、UPSとケーブルの接続の誤り、または本ソフトのインストールや構成が不適當である可能性があります。UPSの電源プラグをコンセントに接続しインストールチェックを参照して各項目の確認をしてください。

4. 画面にカウントダウンタイマーが出ましたら、UPSの電源プラグをコンセントに接続しなおします。画面からカウントダウンタイマーが消え、『Monitor』の『UPSの動作』が『Line Fail』から『Normal』表示となります。
5. 再びUPSの電源プラグをコンセントから引き抜き、カウントダウンタイマーが『0』ゼロになるまで待ちます。その後、本ソフトはアプリケーションとOSを停止してからUPSの電源を切ります。
OSが停止する前にUPSが停止した場合、15ページの7)の『UPSが停止するまでの時間』を長めに設定しなおしてください。
(推奨：OSの終了処理時間+1分)

6. 再びWindowsを起動させ、試しに起動したアプリケーションに入力したデータが保存されていることをご確認ください。(起動するとどこに保存されたのか、保存場所を示す以下のようなウィンドウが表示されます。)



この動作が行われれば、本ソフトはシステムを適切に保護したことになります、正常にインストールされたと判断できます。

インストールチェック

テストにおいて本ソフトが適切に動作しない場合は、次のチェックリストで本ソフトのインストールが正しく行われたかどうかをチェックしてください。

- UPSとパソコンが付属のケーブルで正しく接続されていますか？
- 本ソフトが正しくインストールされロードされていますか？
- タスクトレイに『UPSMON』のアイコンが表示されていますか？
- 本ソフト用のCOMポートがケーブルを接続してあるシリアルポートに合致していますか？

(3) ソフトの停止と削除

ご使用のシステムから本ソフトを停止し、削除する場合は次の手順に従ってください。

1. まず、『Monitor』を起動している場合には、『メニューバー』の『ファイル』 - 『終了』をクリック、または画面右上の『×』をクリックして終了します。
2. タスクトレイの『UPSMON』アイコンを右クリックし、『終了』を選びます。
3. 『スタート』の『設定』 - 『コントロールパネル』を起動し、『アプリケーションの追加と削除』をダブルクリックします。
4. 『インストールと削除』のダイアログ上で『UPSMON PLUS FOR WINDOWS』をポイントし、『追加と削除』のボタンをクリックすると、本ソフトがシステムから削除されます。

2 . WindowsNT4.0/Windows2000の場合

(1) 本ソフトのセットアップと初期設定

ここでは本ソフトをセットアップする方法と初期設定について説明します。

必要なハードウェアとソフトウェア

- ・ IBM PC / AT (DOS / V機) 互換機 (UPS 専用にシリアルポートが 1 つ使用可能なこと)
- ・ オペレーティングシステム : WindowsNT4.0 / Windows2000
- ・ Panasonic UPS 本体

UPS とパソコンとの接続

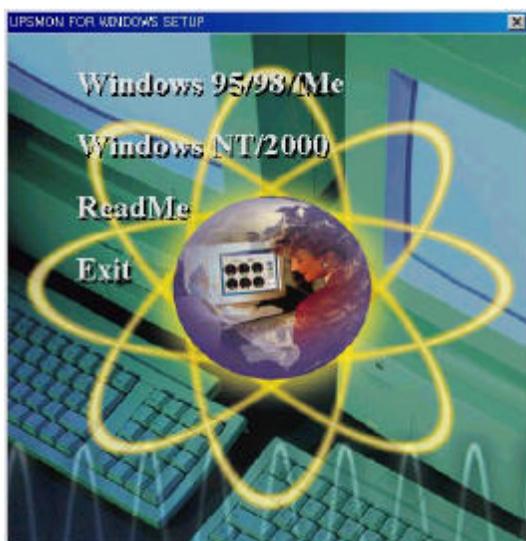
- 1 . UPS の取扱説明書に従い、パソコンとUPS を設置します。
- 2 . ケーブルでパソコンとUPS を接続します。
本ソフトに同梱の 9 ピン シリアルケーブルでUPS とパソコンのシリアルポートを接続してください。
9ピン シリアルケーブルはオス・メスを確認の上、接続願います。

注意事項

ソフトをインストールする前にケーブルを接続しUPS の電源をONにして下さい。
ケーブルが外れるとシステムが突然シャットダウンする等の不具合が発生します。
コネクタは必ずネジ止めしてください。

本ソフトをインストールする

- 1) 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブ（通常Dドライブ）に挿入します。
- 2) 画面に以下のような画面が表示されたら、『Windows NT/2000』を選んでクリックします。
（または、『エクスプローラ』より『デスクトップ』の『マイコンピュータ』 - 『UPSMON』
- 『Winnt』 - 『setup.exe』をダブルクリックします。）



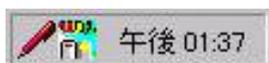
- 3) セットアップ画面の指示に従い、『Next』で次へと進めます。（通常はデフォルトの状態を推奨します。）
- 4) 『UPS mon』というフォルダが表示されたら、画面を閉じ、セットアップ画面の『Finish』をクリックして終了させます。



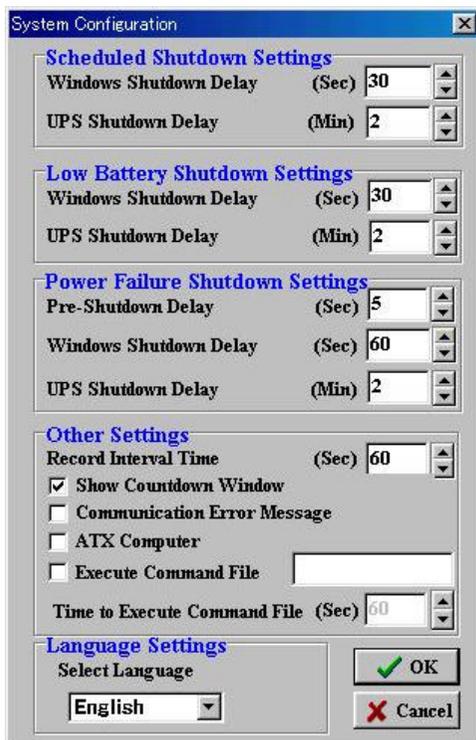
本ソフトの初期設定

- 1) 『スタート』の『プログラム』 - 『Upsmon』 - 『Install NT Service』をクリックします。
- 2) 画面右下のタスクトレイに『UPSMON』のアイコンが表示されます。

『UPSMON』アイコン



- 5) 次にそのアイコンを右クリックし、『Restore』をクリックします。(または、アイコンをダブルクリックします。)
- 6) 『Monitor』が表示されますので、『メニューバー』の『File』 - 『System Configuration』をクリックして以下の画面を表示させます。



7) 『Language Setting』の『English』を『Japanese』に変更し、『OK』をクリックします。



8) 『Monitor』等の全ての表示が、日本語表示に変わります。

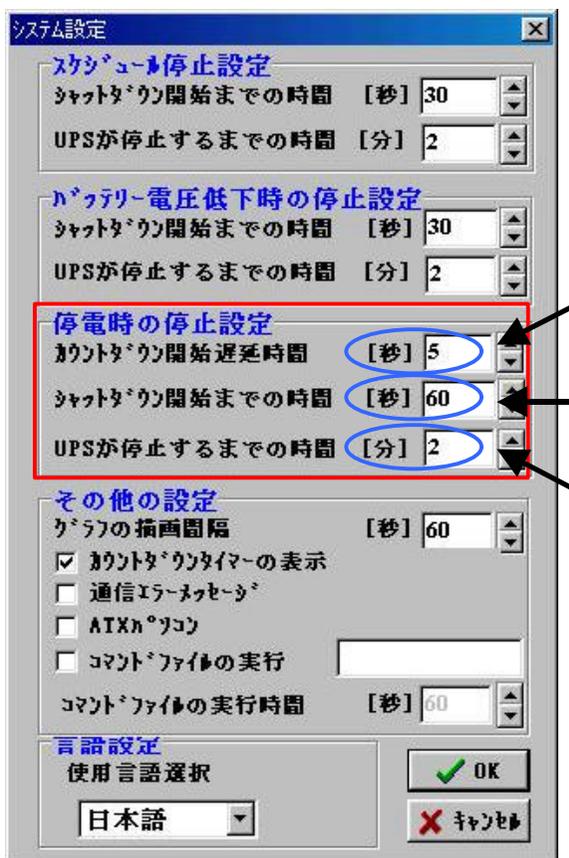


- 9)次に『メニューバー』の『セットアップ』 - 『COMポート』をクリックして以下の画面を表示させ、シリアルケーブルの接続されたポートの設定を行い、『OK』をクリックします。



- 10) 『メニューバー』の『ファイル』 - 『システム設定』をクリックして画面を表示させ、『停電時の停止設定』を以下の数値に設定し、『OK』をクリックします。

カウントダウン開始遅延時間 : 5 [秒]
シャットダウン開始までの時間 : 30 [秒]
UPSが停止するまでの時間 : 2 [分]



『UPSが停止するまでの時間』の設定は、十分余裕を持たせた値にする必要があります。設定方法の詳細は、27ページをご参照ください。

以上で本ソフトのインストールと基本設定が終了しました。

(2) 動作確認

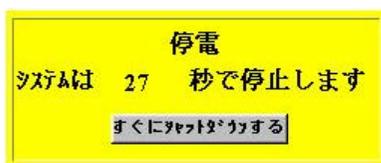
本ソフトはご使用のUPSでテストしてからシステムの保護に使用してください。
ここでは、そのためのテストの手順を説明します。

【テストの手順】

次の手順で本ソフトの動作テストを行います。

尚、この時点ではパソコン本体の電源ケーブルはUPSの出力コンセントではなく、通常のコンセントに接続しておくことをおすすめします。

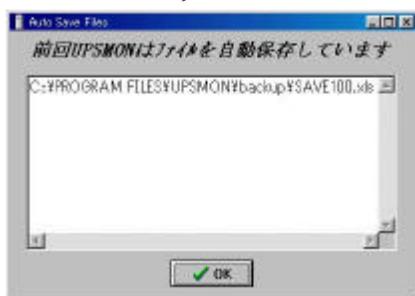
1. Windowsを起動させます。
2. 試しにWindows上のアプリケーションを何か起動し、データを入力してください。
3. UPSの電源プラグをコンセントから引き抜きます。画面に以下のようなカウントダウンのタイマーが表示されます。(タイマーが表示されるまで少し時間がかかります。)



カウントダウンタイマーが表示されない場合は、UPSとケーブルの接続の誤り、または本ソフトのインストールや構成が不適當である可能性があります。UPSの電源プラグをコンセントに接続しインストールチェックを参照して各項目の確認をしてください。

4. 画面にカウントダウンタイマーが出ましたら、UPSの電源プラグをコンセントに接続しなおします。画面からカウントダウンタイマーが消え、『Monitor』の『UPSの動作』が『Line Fail』から『Normal』表示となります。
5. 再びUPSの電源プラグをコンセントから引き抜き、カウントダウンタイマーが『0』ゼロになるまで待ちます。その後、本ソフトはアプリケーションとOSを停止してからUPSの電源を切ります。
OSが停止する前にUPSが停止した場合、22ページの10)の『UPSが停止するまでの時間』を長めに設定しなおしてください。
(推奨：OSの終了処理時間+1分)

6. 再びWindowsを起動させ、試しに起動したアプリケーションに入力したデータが保存されていることをご確認ください。(起動するとどこに保存されたのか、保存場所を示す以下のようなウィンドウが表示されます。)



この動作が行われれば、本ソフトはシステムを適切に保護したことになります、正常にインストールされたと判断できます。

インストールチェック

テストにおいて本ソフトが適切に動作しない場合は、次のチェックリストで本ソフトのインストールが正しく行われたかどうかをチェックしてください。

- UPSとパソコンが付属のケーブルで正しく接続されていますか？
- 本ソフトが正しくインストールされロードされていますか？
- タスクトレイに『UPSMON』のアイコンが表示されていますか？
- 本ソフト用のCOMポートがケーブルを接続してあるシリアルポートに合致していますか？

(3) ソフトの停止と削除

ご使用のシステムから本ソフトを停止し、削除する場合は次の手順に従ってください。

1. まず、『Monitor』を起動している場合には、『メニューバー』の『ファイル』 - 『終了』をクリック、または画面右上の『×』をクリックして終了させます。
2. 『スタート』の『プログラム』 - 『Upsmon』 - 『UnInstall NT Service』をクリックします。
3. 次に『スタート』の『設定』 - 『コントロールパネル』をクリックします。
4. 『コントロールパネル』内の『アプリケーションの追加と削除』アイコンをダブルクリックします。
5. 『インストールと削除』のダイアログ上で『UPSMON PLUS FOR WINDOWS』をポイントし、『追加と削除』のボタンをクリックすると、本ソフトがシステムから削除されます。

本ソフトの設定

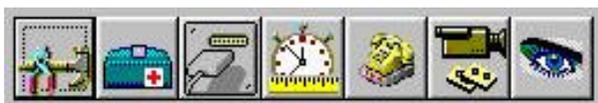


Main Monitor

1. 本ソフトの構成

1) システムショートカットキー

以下のような7つのボタンから構成されます。各ボタンをクリックし、設定および操作を行います。



- システム設定 : 本ソフトのオペレーション設定を変更します。
- セルフテスト : UPSのバッテリーテストを行います。
- COMポート : シリアルケーブルの接続を設定します。
- スケジュール : スケジュールによる起動時刻および停止時刻の設定を行います。
- ページャー呼出 : サポートしていません。
- グラフビュー : 本ソフトの履歴データを元に、グラフとして情報を表示します。
- イベントビュー : 履歴データの参照を行います。

2) UPSの動作



- Normal : UPSの入力電圧が正常な場合にこのマークが表示されます。
 Line fail : 停電が起こった場合に表示されます。
 Low Bat : 蓄電池電圧が低下している場合に表示されます。

3) UPSの状態



- UPS OK : 通常運転中はこのマークが表示されます。
 FAULT : UPSに異常が生じている場合に表示されます。
 Bat Bad : 蓄電池に異常がある場合に表示されます。
 ただし、このマークが表示されていない場合、蓄電池交換期限内に蓄電池の交換を行ってください。
 (詳細については、UPS本体の取扱説明書をご参照ください。)
 Over Load : 過負荷が起きている場合に表示されます。
 ただし、過負荷の検出レベルには大幅なバラつきがありますので、『Main Monitor』の『ロードレベル』の表示が低い値を示していても、UPS本体のLED表示は過負荷を示している場合があります。このような時には、接続している負荷を減らしてご使用ください。
 UPS Test : 1)の のボタンもしくは『メニューバー』の『ファイル』 - 『セルフテスト』を実行した場合に表示されます。
 また、UPS本体のパワースイッチを押してのバッテリーテスト動作においても、このマークが表示されます。

2. イベント発生時の動作設定

『メニューバー』 - 『ファイル』 - 『システム設定』をクリックすると、以下の画面が表示されます。（システムショートカットキーの 『システム設定』でも同様に以下の画面が表示されます。）



『システム設定』のダイアログ上の設定について

スケジュール停止設定：スケジュール停止時刻となった際の動作の設定を行います。	
シャットダウン開始までの時間	スケジュールによる停止時刻から、OSの停止処理を開始するまでの時間を指定します。 デフォルト：30秒
UPSが停止するまでの時間	OSの停止処理を開始してからUPSの電源がOFFするまでの時間を指定します。 デフォルト：2分 OSの停止にはある程度の時間が必要となります。OSの停止処理が終了する前にUPSの電源がOFFすることのないよう、十分余裕を持った設定を行ってください。
バッテリー電圧低下時の停止設定：UPSの蓄電池容量が少なくなった際の動作の設定を行います。	
シャットダウン開始までの時間	蓄電池容量が少ないと検知してから、OSの停止処理を開始するまでの時間を指定します。 デフォルト：30秒
UPSが停止するまでの時間	ローバッテリーを検知してからUPSの電源がOFFするまでの時間を指定します。 デフォルト：2分 OSの停止にはある程度の時間が必要となります。OSの停止処理が終了する前にUPSの電源がOFFすることのないよう、十分余裕を持った設定を行ってください。
停電時の停止設定：停電が発生した際の動作の設定を行います。	
カウントダウン開始遅延時間	停電を検知してからカウントダウンを開始させるまでの時間を指定します。 デフォルト：5秒（推奨：0秒）
シャットダウン開始までの時間	停電が発生してからOSの停止処理を開始させるまでの時間を指定します。 デフォルト：60秒（推奨：30秒）
UPSが停止するまでの時間	OSの停止処理を開始してからUPSの電源がOFFするまでの時間を指定します。 デフォルト：2分（推奨：OSの終了処理時間+1分） OSの停止にはある程度の時間が必要となります。OSの停止処理が終了する前にUPSの電源がOFFすることのないよう、十分余裕を持った設定を行ってください。

その他の設定：その他の設定を行います。	
グラフの描画間隔	履歴データを記録する時間間隔を指定します。 デフォルト：60秒
カウントダウンタイマーの表示	チェックしてご使用ください。
通信エラーメッセージの表示	シリアルケーブルの接続に異常が発生した場合に、メッセージを表示します。 デフォルト：メッセージを表示させない (推奨：メッセージを表示させる)
ATXパソコン	サポートしていません。
コマンドファイルの実行	サポートしていません。
コマンドファイルの実行時間	サポートしていません。
言語設定：本ソフトの表示言語を選択します。	
使用言語選択	『Japanese』を選んでご使用ください。
OK	設定変更を『有効』にする場合にクリックします。
Cancel	設定変更を『無効』にする場合にクリックします。

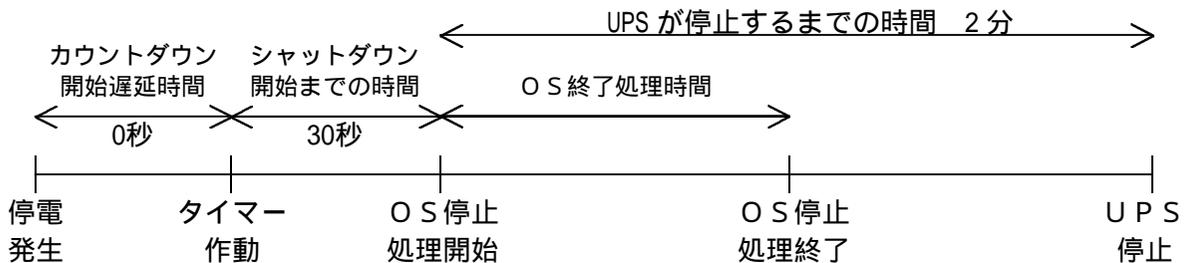
以上のことから、各イベント毎の時間設定を推奨設定とした場合のタイムチャートは、次ページのようになります。タイムチャートを参考に、ご使用のUPSのバックアップ時間を越えることのないように時間設定を行ってください。

バックアップ時間が短い場合は、負荷を軽減してご使用ください。

また、UPSの蓄電池劣化に伴い、バックアップ時間は短くなりますので、定期的にバックアップ時間の測定を行い、バックアップ時間がこれらに要する時間よりも短くなる前に、UPSの蓄電池交換を行ってください。

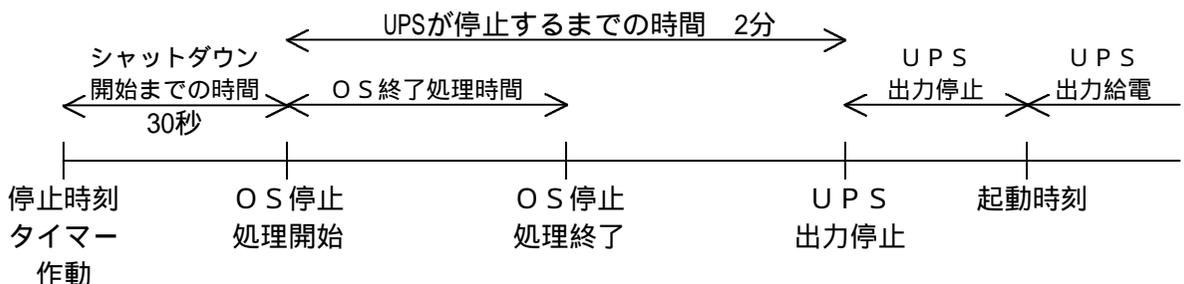
【推奨設定によるタイムチャート】

停電動作（停電時の停止設定）時



- 1: 『シャットダウン開始までの時間』内でも、タイマー画面の『すぐに停止』ボタンを押すと強制的にタイマーが『1』となり、OSの停止処理が開始されます。
- 2: 『UPSが停止するまでの時間』は、OSの停止処理時間を考慮に入れて十分余裕を持たせた設定にしてください。
- 3: OS終了処理時間の中には、アプリケーション終了時間も含まれます。この時間は、ご使用のアプリケーションソフトによって変わります。本ソフトでの時間設定、時間制御はできません。

スケジュール動作（スケジュール停止設定）時



- 1: 『シャットダウン開始までの時間』内でも、タイマー画面の『すぐに停止』ボタンを押すと強制的にタイマーが『1』となり、OSの停止処理が開始されます。
また、『停止解除』ボタンを押すと、スケジュール停止が解除されます。
- 2: 『UPSが停止するまでの時間』は、OSの停止処理時間を考慮に入れて十分余裕を持たせた設定にしてください。
- 3: OS終了処理時間の中には、アプリケーション終了時間も含まれます。この時間は、ご使用のアプリケーションソフトによって変わります。本ソフトでの時間設定、時間制御はできません。

3 . スケジュールの設定

『メニューバー』の『セットアップ』 - 『スケジュール』をクリックすると以下の画面が表示されます。

(システムショートカットキーの 『スケジュール』 をクリックしても同様に表示されます。)



『スケジュール』のダイアログ上の設定について

週	スケジュールを設定する曜日を指定します。
起動	起動させたい曜日の『起動』を右クリックして『有効』を選択し、起動時刻を設定します。設定を解除する場合は、右クリックで『無効』を選択します。
停止	停止させたい曜日の『停止』を右クリックして『有効』を選択、停止時刻を設定します。設定を解除する場合は、右クリックで『無効』を選択します。
保存	設定変更を『有効』にする場合にクリックします。
キャンセル	設定変更を『無効』にする場合にクリックします。

スケジュール機能は、パソコンの時計に基づいて動作しますので、スケジュール設定する前に必ずパソコンの時計を確認してください。

パソコンの時計を変更された場合は、『UPSMON』を一度終了させてから再度起動させてください。

また個々のUPSで多少時間に誤差が生じますので、誤差を考慮した上でスケジュールの設定を行ってください。

例1) 毎日17時にスケジュール停止し、毎日9時に起動させる場合

『メニューバー』の『セットアップ』 - 『スケジュール』をクリックし、カレンダーを表示させます。

(システムショートカットキーの『スケジュール』をクリックしても同様に表示します。)

『月曜日』の『停止』の欄を右クリックし、『有効』をクリックします。



停止時刻を17:00に設定します。

同じく『月曜日』の『起動』の欄を右クリックし、『有効』をクリックします。

起動時刻を09:00に設定します。

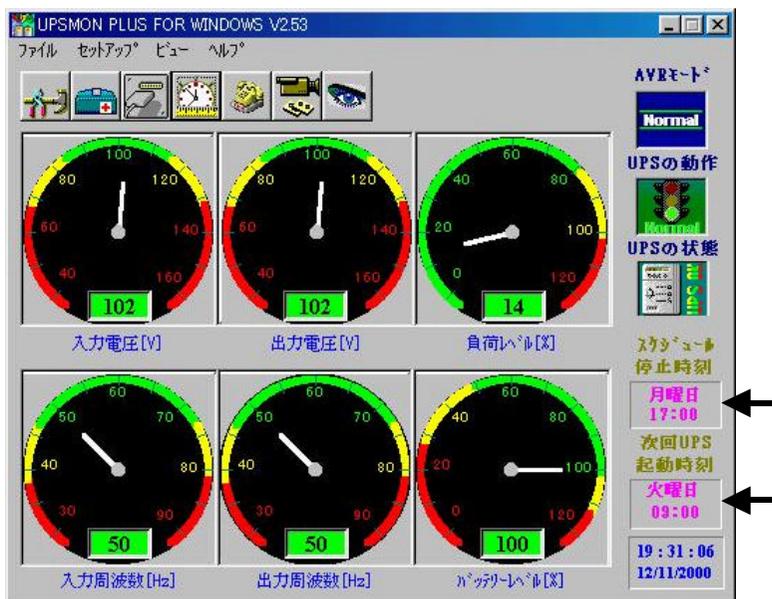


火曜日以降も同様に設定すると、カレンダーは次のように表示されます。



『保存』をクリックして設定を有効にします。

『Monitor』の『スケジュール停止時刻』と『次回UPS起動時刻』に、設定した時刻が表示されていれば、設定が有効となっています。



例2) 毎日のスケジュール設定を、1日だけ解除したい場合

『メニューバー』の『セットアップ』 - 『スケジュール』をクリック、カレンダーを表示させます。

(システムショートカットキーの『スケジュール』をクリックしても同様に表示します。)

カレンダー上のスケジュール設定を解除させたい曜日の『停止』の欄を右クリックし、『無効』を選択します。(例の場合は木曜日)

同様に『起動』も右クリックして『無効』に設定しなおします。



『保存』をクリックして設定を有効にします。

トラブルシューティング

現象	確認および対処法
本ソフトがインストールできない。	<ul style="list-style-type: none"> 画面に表示されるエラーメッセージを読み、指示に従ってトラブルを解消してから、再度インストール作業を行ってください。
通信エラーメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> シリアルケーブルが正しく接続されているか確認してください。 『COMポート』の設定とシリアルケーブルの接続されているポートが合致しているか確認してください。 シリアルケーブルが接続されているポートをパソコンが認識しているか確認してください。
本ソフトが正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 本ソフトのインストールが正しく行われたか確認してください。 他のUPSモニタリングソフトが動作していないか確認してください。
停電が発生してもカウントダウンタイマーが表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> 『メニューバー』の『ファイル』 - 『システム設定』（あるいはシステムショートカットキー 『システム設定』）において、『その他の設定』内の『カウントダウンタイマーの表示』にチェックがされているか確認してください。 パソコンの時刻が正しく設定され、動作していることを確認してください。
『コンピュータの電源を切る準備ができました』のメッセージが表示される前にUPSの電源が切断される。	<ul style="list-style-type: none"> 『UPSが停止するまでの時間』の設定値を増やしてください。（推奨：OSの終了処理時間+1分）
スケジュール機能による自動停止/自動起動が行われない。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンの時計が正しくカウントされていることを確認してください。 再度スケジュール設定の方法を確認し、設定しなおしてください。
スケジュール起動時刻前にパソコンが起動していた。	<ul style="list-style-type: none"> UPSはスケジュール停止による出力停止時に停電が数秒でも発生した場合、停電回復時に自動的に再起動します。

松下電器産業株式会社
松下電池工業株式会社 蓄電池事業部 UPSサポートグループ
〒253-8567 神奈川県茅ヶ崎市本宿町11番66号
TEL.(0467) 52-0027 FAX.(0467) 54-3189
E-mail : UPS@pas.mbi.mei.co.jp